

第4回新潟県食肉センター再編検討委員会 議事概要

1 開催概要

- (1) 日時 令和8年1月30日（金）午後1時30分から午後2時50分まで
- (2) 会場 新潟県自治会館3階・301会議室
- (3) 出席者 本委員会委員20名のうち17名が出席

2 議事概要

(1) 事務局説明

- 議題1 第3回新潟県食肉センター再編検討委員会の概要
- 議題2 作業部会の概況報告
- 議題3 県内食肉センター再編に向けたアンケート結果
- 議題4 新潟県食肉センター再編基本構想（案）
- 議題5 今後の進め方議題1～5 について説明を行った。

(2) 委員の主な意見

事務局説明後の意見交換において、委員の主な意見は以下のとおり。

ア 民設民営（運営体制、費用負担など）

- 基本構想の段階では建設費の負担者を明確にせず、今後開催する基本計画策定委員会の場で引き続き議論していくべき。
- 雇用も含めた持続的な運営体制については、経営収支や利用料等の具体的な試算を行い、また国の補助金や県、市町村の支援内容も含め全体が示された段階で議論していくべき。
- まずは場所を決めることが最優先。現有施設から離れた場所での建設となると従業員が集まらない。
- 儲けはと畜業務だけじゃなく内臓処理、カット、輸出と全部食肉センターが事業としていくよう検討すべき。
- 今の新潟市食肉センターの場所は非常によい場所。雇用の問題もあるが、自動化も考えながら、民のよいところを引き出して運営していくとよい。
- 組織化、場所の選定、整備計画の作成等やることが多岐にわたるため県だけでは難しい。移行期も万全な対応がなされるような体制強化を検討願いたい。

イ スケジュール

- 新たな場所での実施を前提とすると当該スケジュール（令和12年度新施設稼働）で進めるのは困難ではないか。
- スケジュールは一刻も早くということをお願い申し上げた。令和12年度というスケジュールに向けて力を結集して良い方向に向かえばとよい。
- 老朽化に伴う故障により現有施設が操業停止とならないよう、スピード感をもって再編議論を進めていただきたい。と畜料が上がってしまう心配もあるので、数字を見ながら計画を立ててもらいたい。

ウ 意見集約（アンケートなど）

- 県外に出荷している生産者や事業者も大勢いるので、使いやすい施設になれば、当該施設でのと畜に切り替わり稼働率が上がっていくだろう。
- 県内の生産者が納得して利用できるような、生産者あつてのと畜場となることを今一度認識して、計画を進めていただきたい。
- 生産者のアンケート回収率が低く、県でフォローして生産者の意向をしっかりと吸い上げるべき。
- 食肉センターは畜産振興上、県内に絶対必要な施設。これまで使ってこなかった生産者の意向をしっかりと確認し、活用いただけるような施設にしてもらいたい。

(3) 結論

案のとおり再編基本構想を策定し、今後も再編の具体の議論を進めていく。